

# 平成29年度ホタテガイ採苗通報(第3報)

平成29年4月27日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-41-0652 FAX:0226-41-0743  
 E-mail:kssuisan@pref.miyagi.jp  
 HP:http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/  
 Facebook:https://www.facebook.com/kesuishi  
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852  
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138  
 県漁協各支部青年部・研究会

- ・ 小型～中型幼生は先週よりわずかに増加し、大型幼生もわずかですが確認されました。
- ・ ホタテガイ母貝の産卵は進んでいると思われることから、浮遊幼生は今後とも増加していくと思われます。
- ・ 唐桑(只越)では、そろそろ採苗器の投入に向けた準備を始めてください。

## 《調査結果の概要》 調査日:4月21日、同月24日

- ・ 調査地点の表層水温は8.6～9.0℃、10m水温は8.4～8.5℃でした。なお、昨年同時期の表層水温は10.9～12.0℃、10m水温は9.6～10.3℃でしたので、昨年より表層でおよそ2℃～3℃低く、10m水温では約1℃ほど低くなっています。
- ・ 気仙沼湾口部の岩井崎、大島の大前見と唐島で浮遊幼生調査を実施したところ、小型～中型浮遊幼生は増加し、大型幼生もわずかですが確認されました。
- ・ ムラサキイガイ(シウリガイ)幼生も増加していました。
- ・ ホタテガイ母貝の生殖腺指数は、唐桑(砂子浜)では17.1%(4/21)、本吉(蔵内)では17.2%(4/24)と、どちらも前回からわずかに低下しており、引き続き産卵が行われていると思われます。

表 浮遊幼生調査結果

調査点 (調査月日)	水温(℃) 表層/10m	採取方法 (プランクトンネット)	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m <sup>3</sup>		その他 (ムラサキイガイ等) 幼生数 個体/m <sup>3</sup>
			250ミクロン未満 (小型～中型)	250ミクロン以上 (大型)	
只越(唐桑) 4/21	8.7/8.5	10m曳	4	2	18
		20m曳	7	1	16
岩井崎 4/24	9.0/8.5	10m曳	7	2	14
大前見(大島) 4/24	9.0/8.4	10m曳	5	2	8
唐島(大島) 4/24	8.6/8.5	10m曳	7	0	6

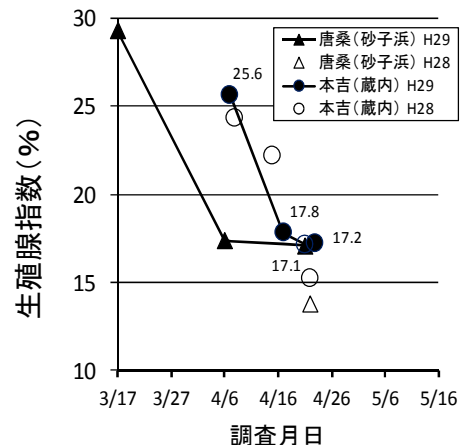


図 生殖腺指数の推移

## 県外情報

### 青森県(4/27)

- ・ 陸奥湾における浮遊幼生の出現数は西湾、東湾とも過去10年の同時期の平均値よりもかなり多い状況。
- ・ 西湾では今月中に採苗器投入の完了を、東湾では付着数がかなり多くなることが予想されることから残りの採苗器については連休明けの投入を呼びかけ。

### 岩手県(4/24)

- ・ 小型幼生及び大型幼生が出現しているが、少数であり、採苗器投入時期にはなっていない。

次回の通報発行は5月2日頃の予定です。